

景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

3 調査期間

平成29年8月1日(火)~16日(水)

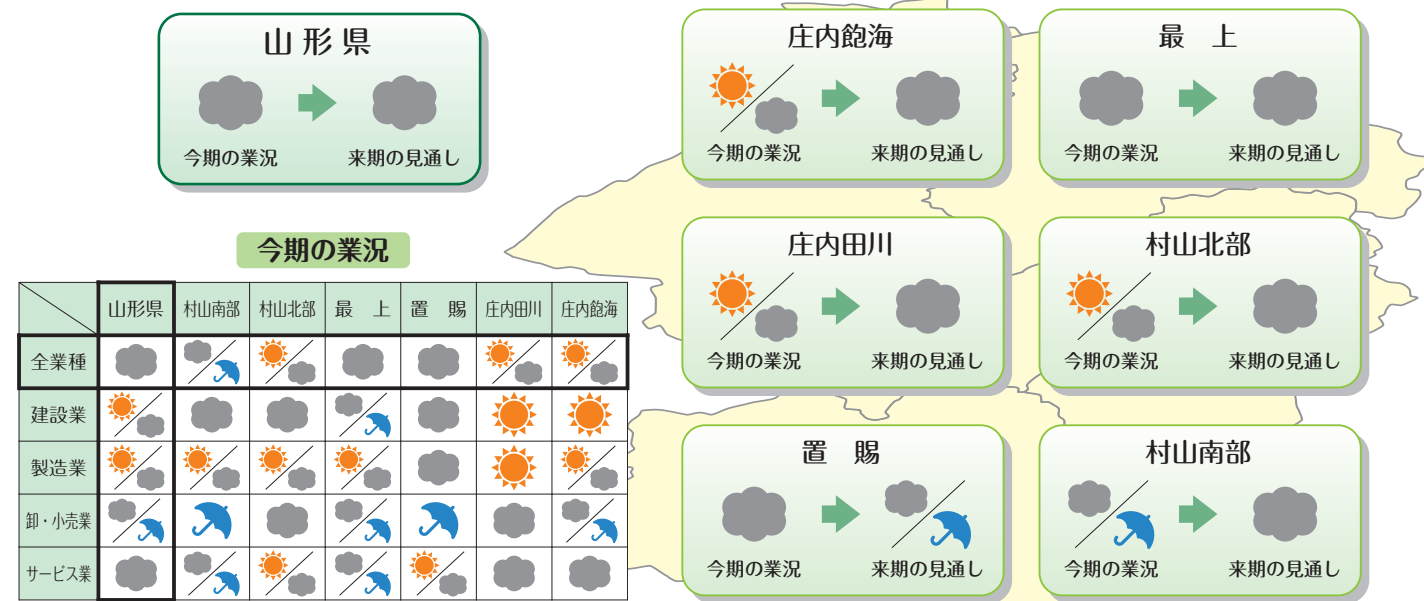
4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形682社、秋田632社
有効回答数 山形435社、秋田407社
回答率 山形63.8%、秋田64.4%

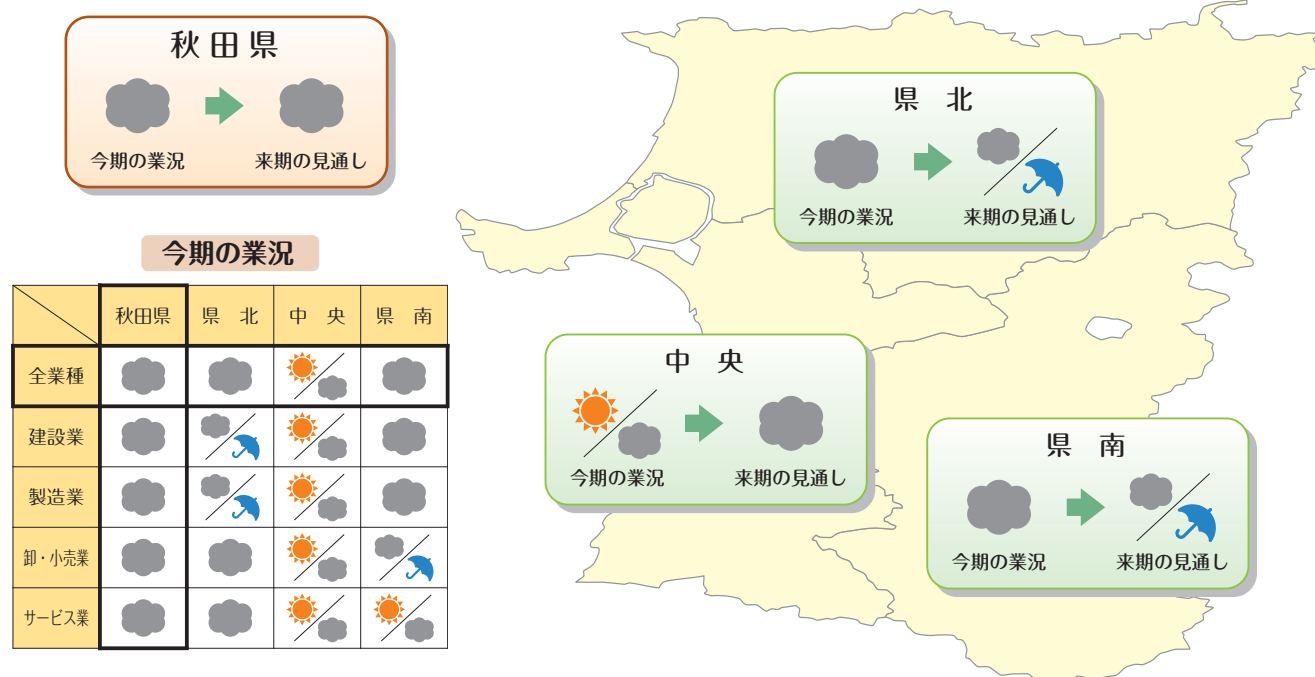
特に好調 DI≥30	好調 30>DI≥10	まあまあ 10>DI≥▲10	不振 ▲10>DI≥▲30	きわめて不振 ▲30>DI

▶ 景気天気図

第52回「山形県内企業の景気動向調査」



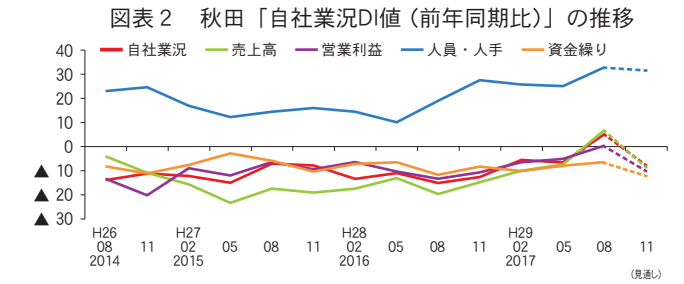
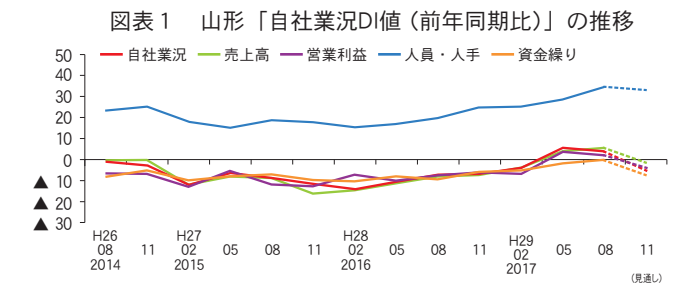
第25回「秋田県内企業の景気動向調査」



▶ 自社業況の動向

山形県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が4.4(前回調査比1.6ポイント下落)と小幅ながら6期ぶりに悪化した。「各種DI値(前年同期比)」をみると、「営業利益」が悪化し、「売上高」「人員・人手」「資金繰り」は改善となっている。

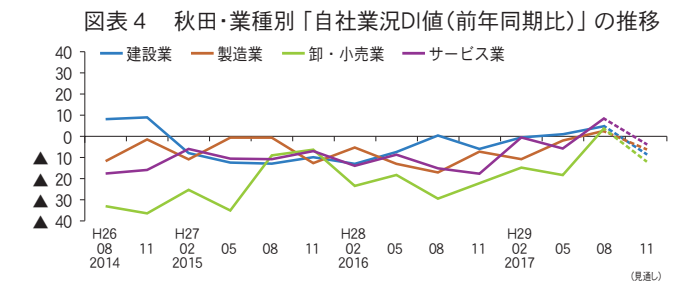
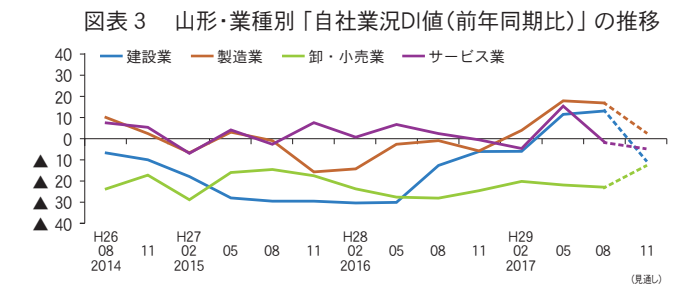
秋田県の業況は、「自社の業況DI値(前年同期比)」が5.4(前回調査比12.0ポイント上昇)と2期ぶりに大きく改善し、平成26年5月調査以来13期ぶりにプラスに転じた。「各種DI値(前年同期比)」は、すべての項目で改善し、「売上高」「営業利益」がプラスに転じている。



▶ 業種別の動向

山形県の業況(前年同期比)を業種別にみると、建設業で改善となったものの、製造業、卸・小売業、サービス業で悪化となっている。建設業では6期連続で改善となっている。先行きは、卸・小売業で改善、その他の3業種で悪化の見込みとなっている。

秋田県の業況(前年同期比)を業種別にみると、すべての業種が改善し、製造業、卸・小売業、サービス業はプラスに転じた。すべての業種がプラスとなったのは、平成26年5月調査以来13期ぶり。先行きは、すべての業種で悪化が見込まれる。



▶ 地域別の動向

山形県の業況(前年同期比)を地域別にみると、村山南部、置賜、庄内飽海で悪化した一方、村山北部、最上、庄内田川で改善となった。村山南部で2期連続悪化、村山北部で2期連続改善、庄内田川ではDI値が3期ぶりにプラスに転じるなど、地域間でばらつきが見られる。

秋田県の業況(前年同期比)を地域別にみると、すべての地域で改善した。中央は3期連続のプラスで、県北は依然マイナスながら4期連続の改善となった。

